

## 第8回 まちづくりに関する提案の募集

### 大分・宮崎路（日豊本線）に“キャッスル・トレイン”を走らせよう！

#### 〔提案の背景〕

九州では、平成23年の鹿児島新幹線・全面開業に沸いている。しかし、この交通広域インフラ整備の恩恵に浴さない地域もある。それは、九州の太平洋側の大分県及び宮崎県である。この地域は、地形条件の厳しさもあり、高速道路（東九州自動車道路）の整備も遅れている現状にある。新幹線・全面開業以降には、観光の分野においても、九州の東西地域格差が広がる事が懸念される。

しかし、この九州東路地域は、海・山の風光明媚な景色だけではなく、歴史ある都市や美味しい食べ物の観光資源は豊富である。九州東路の広域交通インフラ未整備、大分・宮崎県内の都市成立の歴史的背景を逆手にとる事による、熊本・鹿児島とは異なる観光開発が望まれるところである。そのためには、九州東路地域の観光及び地域振興のために、各都市単体ではなく、“城下町”という共通テーマを設定して、東路地域全体で、パッケージで売り出す事とする。

大分・宮崎県は、江戸時代の幕藩体制下では、現在の県域全体を統治した大名は居なく、小藩分立していたため、現在の日豊本線沿い都市は、それぞれの都市が、個性的な城下町の面影を残している。観光宣伝には、“豊後・日向の城下町巡り”というテーマのもとで、大分・宮崎湾岸地域全体で売り込む。そして、その相乗的な観光・経済効果、及まちづくりの波及効果を期待する。（口蹄疫で疲弊した宮崎県への観光再生の起爆剤ともする）

#### 〔具体的な提案〕

##### “豊後・日向の城下町巡りの汽車の旅”

“城下町巡り”を目的とした“キャッスル・トレイン”を日豊本線に走らせ、車中で各城下町の歴史・文化・芸能・食を堪能できるような、スローな旅行を企画する。

参考資料：大分県下の各城下町の特徴

藩名	藩主	城	食べ物
中津藩 10万石	小笠原氏、奥平氏	天主閣復元	はも、からあげ
杵築藩 3.2万石	小笠原氏、松平氏	天主閣復元	みかん
日出藩 2.5万石	木下氏	石垣	城下かれい
府内藩	竹中氏、日根野氏、松平氏	楼や石垣	ふぐ、とり天
臼杵藩 5万石	稲葉氏	楼や石垣	ふぐ
佐伯藩 2万石	毛利氏	楼門	すし、ごまだしうどん

#### 〔旅行ツアー企画〕

- ・ 小倉（博多）始発・鹿児島着で、新幹線ネットワークとリンクさせる。
- ・ 2泊3日のツアーとするが、九州東路地域は海から朝日が昇るため、“海の朝日を見る旅”もメイン企画とする。宿泊地の別府、宮崎で朝日を拝む。
- ・ 3日間は、“キャッスル・トレイン”が「動く家のような機能」を持ち、乗客・乗員が一体で、「家族のような雰囲気づくり」に努める。（動くサードプレイス）
- ・ 歴史ガイド（豊後・日向歴史ボランティア制度創設）を乗車させ、車中で歴史ガイドをする。（例えば、佐伯藩の毛利高政公の話：豊臣秀吉や長州毛利との秘話）

- ・ 各都市圏に列車が入ったら、社内アナウンスは、方言・民謡を流す。
- ・ 各城下町の名物（お菓子・果物）を、駅で積み込む。
- ・ 各城下町の踊り等を、“駅舞台”で乗客に見せる。

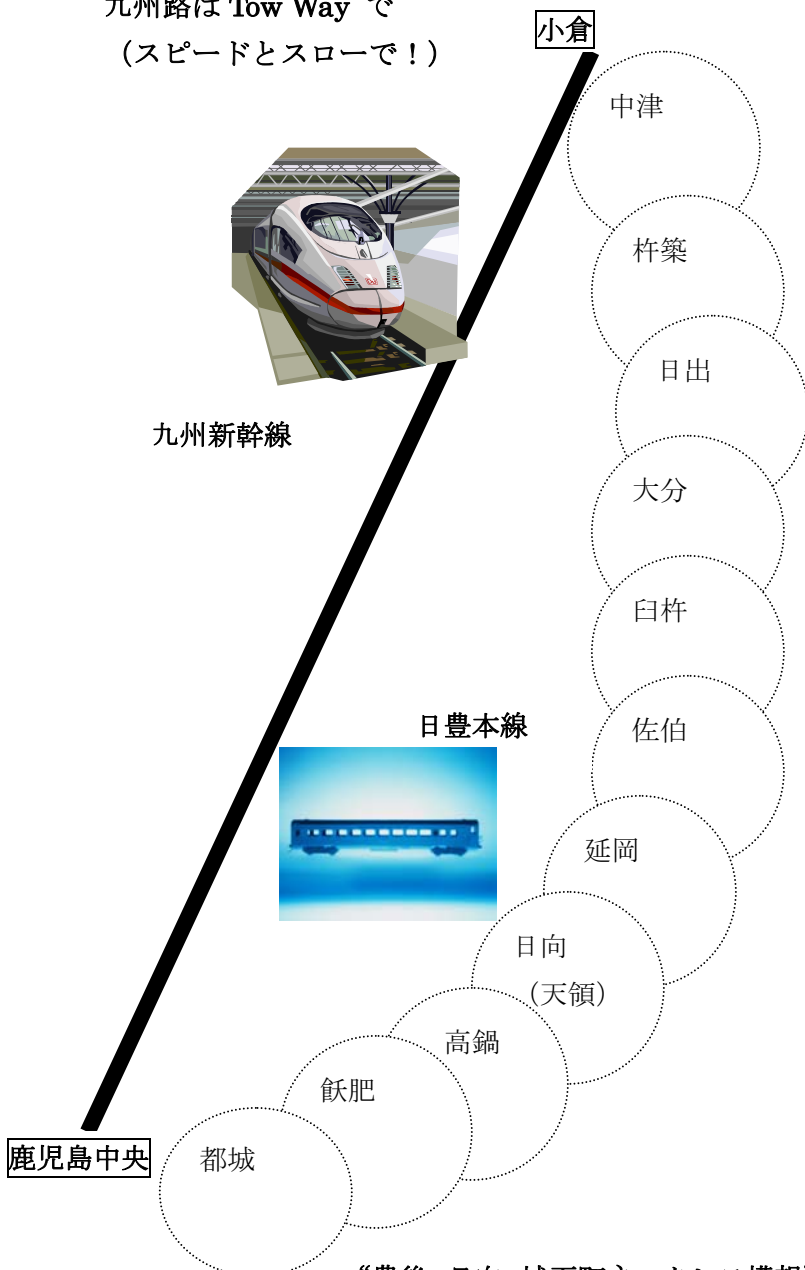
〔2泊3日の旅行企画書〕

<1日目>博多駅：9：20 集合→小倉駅：10：00 集合→中津 11：30 着城下町巡り、昼食→13：00 発→杵築 13：30 着城下町巡り→15：30 発、日出 15：40 着城下町巡り→17：00 発→別府 17：10 着、温泉 <2日目>別府：6：00 別府湾の朝日別府 9：00 発→大分 9：10 着城下町巡り→10：30 発、10：50 臼杵着城下町巡り→12：00 発→佐伯 12：20 着城下町巡り、昼食→14：30 発→15：30 延岡着城下町巡り→17：00 発→18：10 宮崎着 <3日目>宮崎：6：00 日向灘の朝日宮崎 9：00 発→飫肥 10：20 着城下町巡り、昼食→12：30 発→13：50 宮崎→14：40 都城着城下町巡り→16：00 発→17：10 鹿児島中央着 解散

〔地域のまちづくりへの発展〕

“豊後・日向キャッスル・トレイン”は、春夏秋冬の彩りを持つ「春号、夏号、秋号、冬号」とするが、将来は、“豊後・日向：城下町ネックレス構想”の地域都市連合計画へと繋げていく。

九州路は Tow Way で  
(スピードとスローで！)



城下町を散策しよう



城下町には古い伝統文化がある



駅舞台ではお神楽を楽しもう